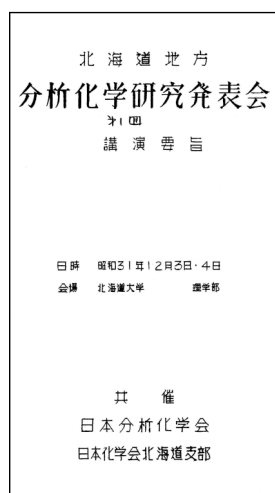


(2) 支部研究発表会

1957年7月に北海道大学理学部において北海道支部支部の発会式が挙行され、同日の午後と翌日にわたって33件の研究発表が行われた。これを第1回の研究発表会とすると、本年7月に開催された夏季研究発表会は96回目の研究発表回に相当する。ただし、支部設立の前年に日本分析化学会と日本化学会北海道支部との共催による「北海道地方分析化学研究発表会」が開催されている。支部設立への意気込みが感じられる貴重な資料であり、講演要旨集の表紙とともに講演プログラムを紹介する。

研究発表会は当初は本支部単独で年に2回開催されていたが、1961年以降、北見、函館、旭川、室蘭などの札幌以外で開催される場合は日本化学会北海道支部との共催となった。そして1971年以降は夏季および冬季とも両支部の共催となり、夏季は化学会道支部が、冬季は本支部が中心となって企画運営することになった。その後は地域の化学系額協会支部の幾つかも共催団体として参加している。冬季研究発表会は2日間にわたって開催される。最初の頃は「雪祭り学会」と銘打って、その開催時期を「さっぽろ雪祭り」に合わせていたが、その後の開催時期は2月上旬が恒例となり、開催場所も1986年からは北海道大学学術交流会館に定着している。発表件数については、1970年前半までは50件前後であったが、その後しだいに増加し、1980年後半には100件を突破することになった。そして、1995年には150件を超えたため、1986年に一度だけ実施したことのあるポスター発表を、この年から正式に導入することになった。冬季研究発表会では一般発表および2件の特別講演が行われる。また、支部表彰制度の施行に伴い、1984年度からは当該年度の受賞者の受賞講演並びに授賞式も併せて実施している。研究発表会、特に冬季研究発表会は支部の年間行事の中で最も多くの支部会員が参加するものであり、支部活動の要となっている。

北海道地区分析化学研究発表会(1956年12月)



支部設立の前年に開催された北海道
地方分析化学研究会の講演要旨集
(多賀光彦先生提供)

北海道地方分析化学研究発表会プログラム

昭和31年12月3日(月)午前9時より

座長 梶目清一郎

- 1 EDTAを用いる重量分析(その1)
鉄の共存下における硫酸イオンの定量(15分)
(北大理) 太秦康光・西村雅吉・○斉藤 節
- 2 EDTAを用いる重量分析(その2)
鉛、バリウム共存下におけるそれぞれの定量(15分)
(北大理) 太秦康光 ○林謙次郎
- 3 希薄濃度におけるイオンの吸着(15分)
(北大理) 太秦康光・林謙次郎 ○赤岩英夫
- 4 天然水中の燐酸イオンの比色定量について(10分)
(北大理) 太秦康光・○那須義和

座長 寺崎義男

- 5 工業用水の分析法に関する研究
Al、SO₄、Ca及びコロイドシリカの定量(15分)
(北大工) 大蔵 武・○後藤克巳・鈴木英友
- 6 珪酸塩鉱物中に存在する遊離珪酸の定量について(15分)
(北工試) 寺谷繁雄・○小野富三
- 7 焼結鉄、砂鉄華のSiO₂の迅速定量法(20分)
(富士鉄室蘭) ○水野孝見・大竹三義
- 8 特殊鋼(主として含チタン鋼)中のマンガン迅速定量法(15分)
(日鋼室蘭) 前川静弥 ○森永 博

座長 森本武生

- 9 鉄鋼中の珪素、燐関連定量法(15分)
(日鋼室蘭) 前川静弥 ○加藤清敏
- 10 砂鉄の分析に関する研究(第1報)
チタン及び鉄の定量について(15分)
(北工試) 緑川林造 ○菊池博男
- 11 X線スペクトログラフに依る含チタン砂鉄分析法の基礎的研究(第1報)(20分)
(北大工) ○平社敬之助・永井忠雄・平社敬一郎
- 12 鉄鋼中のTi 迅速分析法(15分)
(富士鉄室蘭) 滝沢英郎

座長 緑川林造

- 13 熔鉄炉滓中のAl₂O₃ 迅速定量法

(附塩基性電弧炉還元期鋼滓にも適用) (15分)

(日鋼室蘭) ○海老原三代重・鎌田隆吉

14 分光分析の精度向上に関する研究 (15分)

(日鋼室蘭) 前川静弥・○鈴木孝範

15 鉄鉱石類中の硫黄燃焼定量法について (20分)

(富士鉄室蘭) 本間信雄・○野宮正義

16 分光光度計による鉄中の諸元素の定量 (20分)

(富士鉄室蘭) 田端 弘

座長 西村雅吉

17 分光光度計による煙導灰成分の定量について (15分)

(北工試) 高倉英太郎・○本庄谷重雄

18 分光々度計によるフルフルールの定量について (15分)

(北工試) 末広吉生・荒木邦夫

19 コールター油中の石炭酸類、塩基類の同時迅速定量法(20分)

(富士鉄室蘭) 玉置喜平次

20 ガス中の有機硫黄の定量について (20分)

(東圧砂川) 寺崎義男 田中義忠○滋野 修

座長 前川静弥

21 ガス中のメルカプタンの定量 (15分)

(東圧砂川) 寺崎義男○田中義忠 滋野 修

22. パラチオン定量法に関する二、三の知見 (15分)

(北海道衛研) 岩本多喜男・○多賀光彦

23 ペーパーカマトグラフによるアミンの分離定性について(15分)

(北海道衛研) ○岩本多喜男 柳瀬淑江

12月4日(火) 午前9時30分より 特別講演

1 製鋼の化学冶金より観たる鉄鋼分析の重要性

日鋼室蘭・研究課長 理博 前川静弥

2 均一沈でん法について

北海道大学教授 理博 太秦康光

午後1時より 北海道大学内の分析機器見学 (約1時間半)

ベックマン自記分光々度計・質量分析計・電子顕微鏡・ノレルコX線分析装置

過去 15 年間の研究発表会開催記録

研究発表会名	会場	開催日
1992 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 7, 8 日
1992 年夏季研究発表会	苫小牧工業高等専門学校	7 月 31 日
1993 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 3, 4 日
1993 年夏季研究発表会	釧路市生涯学習センター	7 月 23 日
1994 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 2, 3 日
1994 年夏季研究発表会	室蘭工業大学	7 月 22 日
1995 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 2, 3 日
1995 年夏季研究発表会	函館工業高等専門学校	7 月 21 日
1996 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 1, 2 日
1996 年夏季研究発表会	北海道教育大学旭川校	7 月 26 日
1997 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 3, 4 日
1997 年夏季研究発表会	北見工業大学	8 月 1 日
1998 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 3, 4 日
1998 年夏季研究発表会	釧路市生涯学習センター	7 月 24, 25 日
1999 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 2, 3 日
1999 年夏季研究発表会	苫小牧工業高等専門学校	7 月 23 日
2000 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 2, 3 日
2000 年夏季研究発表会	大沼国際セミナーハウス	7 月 21, 22 日
2001 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 1, 2 日
2001 年夏季研究発表会	室蘭工業大学	7 月 19 日
2002 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 4, 5 日
2002 年夏季研究発表会	旭川工業高等専門学校	7 月 19 日
2003 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 4, 5 日
2003 年夏季研究発表会	北見工業大学	7 月 19 日
2004 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 3, 4 日
2004 年夏季研究発表会	苫小牧工業高等専門学校	7 月 24 日
2005 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	2 月 1, 2 日
2005 年夏季研究発表会	公立ほこだて未来大学	7 月 23, 24 日
2006 年冬季研究発表会	北海道大学学術交流会館	1 月 31 日, 2 月 1 日
2006 年夏季研究発表会	室蘭工業大学	7 月 22, 23 日

これらの発表プログラムは日本分析化学会北海道支部ホームページで閲覧できます。

<http://nakamura-2.ees.hokudai.ac.jp/jsacbranch/>

(北見工業大学 宇都正幸)